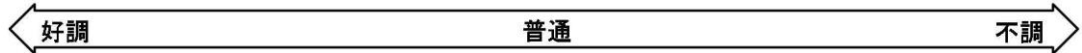


北区の景況

令和5年10月～令和5年12月期

調査対象 製造業 91社 小売業 57社
 サービス業 25社 建設業 34社
 調査方法 面接聴取法
 調査機関 (一社) 東京都信用金庫協会
 分析作成 (株) 総合企画

本概要版は、令和5年12月上旬に調べた区内中小企業の景気動向と、これから先の3ヶ月間(令和6年1月～3月期)の予想をまとめたものです。



	A	B	C	D	E	F	G
製造業	20以上	19～10	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31以下
小売業	10以上	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31～-40	-41以下
サービス業	15以上	14～5	4～-5	-6～-15	-16～-25	-26～-35	-36以下
建設業	20以上	19～10	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31以下

製造業	前期		業況 DI (Δ12.1) は前期比 0.7 ポイント減と、前期同様の厳しさが続いた。全都 (Δ9.0) との比較では、本区が 3.1 ポイント下回っている。売上額、受注残、収益はいずれも減少・減益幅が大幅に拡大した。販売価格は上昇傾向が幾分弱まり、原材料価格は上昇幅が大幅に縮小した。資金繰りは前期同様の窮屈感が続き、借入難易度は厳しさがわずかに和らいだ。設備投資を「実施した・予定あり」とした企業は前期から 1.2 ポイント増加した。
	今期		
	来期		

小売業	前期		業況 DI (Δ19.3) は前期比 10.2 ポイント減と低調感が大きく強まった。全都 (Δ15.0) との比較では、本区が 4.3 ポイント下回っている。売上額は大きく後退し、収益は極端に減少を強め、ともに水面下に落ち込んだ。販売価格、仕入価格はともに上昇が大きく弱まった。資金繰りは窮屈感が若干強まり、借入難易度は厳しさが幾分和らいだ。設備投資を「実施した・予定あり」とした企業は前期から 5.3 ポイント増加した。
	今期		
	来期		

サービス業	前期		業況 DI (Δ20.9) は前期比 6.0 ポイント減と低調感が大きく強まった。全都 (Δ5.8) との比較では、本区が大きく 15.1 ポイント下回っている。売上額、収益はともに減少・減益幅が大幅に拡大した。料金価格は上昇が大きく弱まり、材料価格は前期並の上昇が続いた。資金繰りは窮屈感がやや強まり、借入難易度は厳しい状況に大きく転じた。設備投資を「実施した・予定あり」とした企業は前期から 7.8 ポイント増加した。
	今期		
	来期		

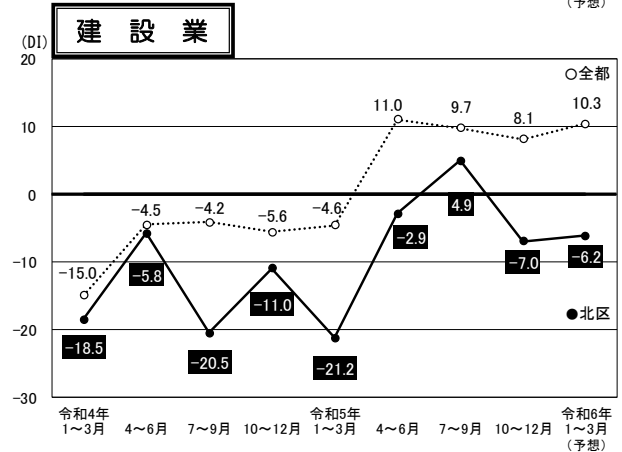
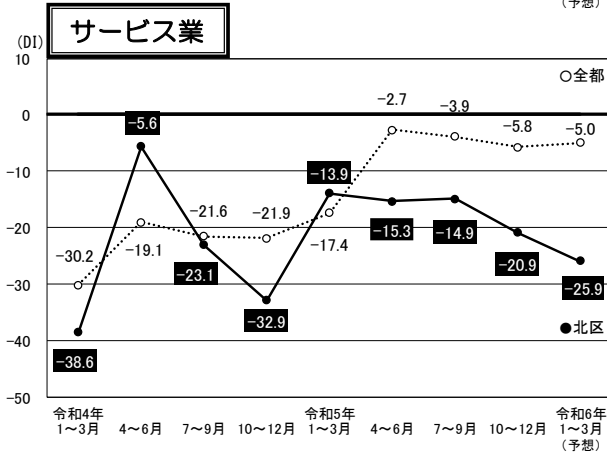
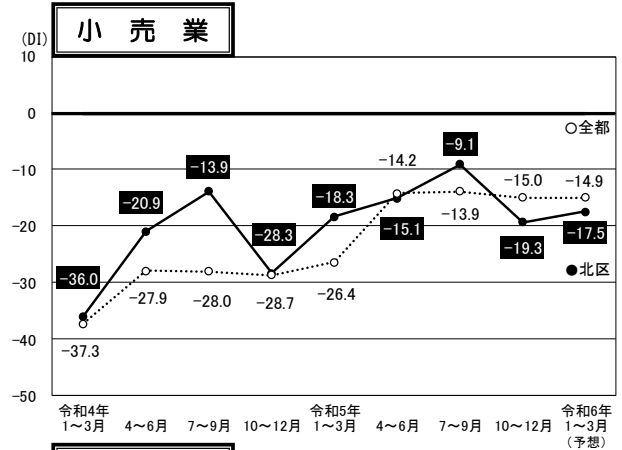
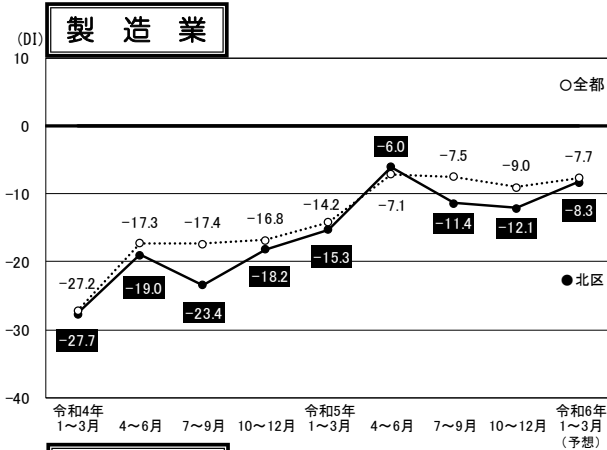
建設業	前期		業況 DI (Δ7.0) は前期比 11.9 ポイント減と大きく水面下に落ち込んだ。全都 (8.1) との比較では、本区が大きく 15.1 ポイント下回っている。売上額は増加幅が大幅に縮小し、収益は大きく減少に転じた。受注残は増加から減少に大きく転じ、施工高は増加傾向が大幅に弱まった。請負価格は上昇幅が大幅に縮小し、材料価格は上昇がわずかに弱まった。資金繰りは前期同様変わらず、借入難易度は容易さが若干後退した。設備投資を「実施した・予定あり」とした企業は前期と同様で変化がなかった。
	今期		
	来期		

※DI (Diffusion Index) とは

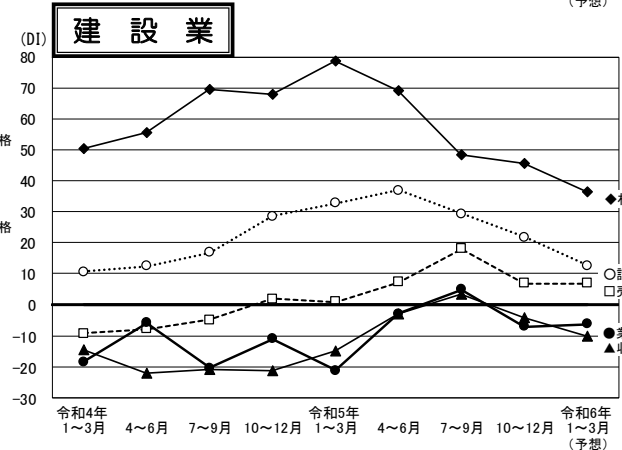
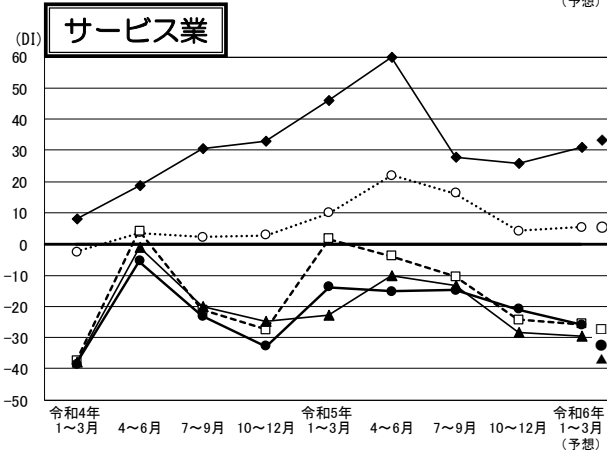
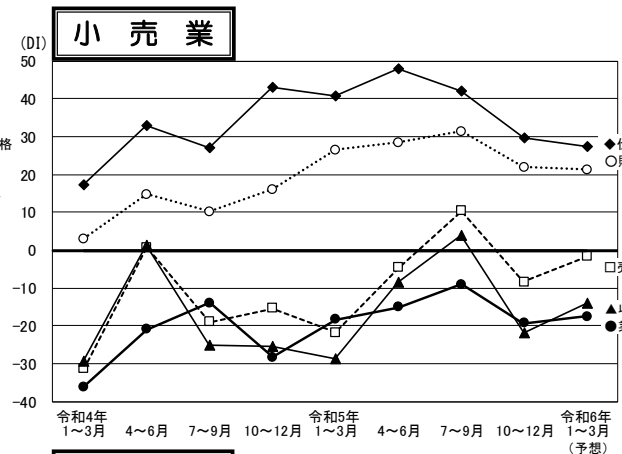
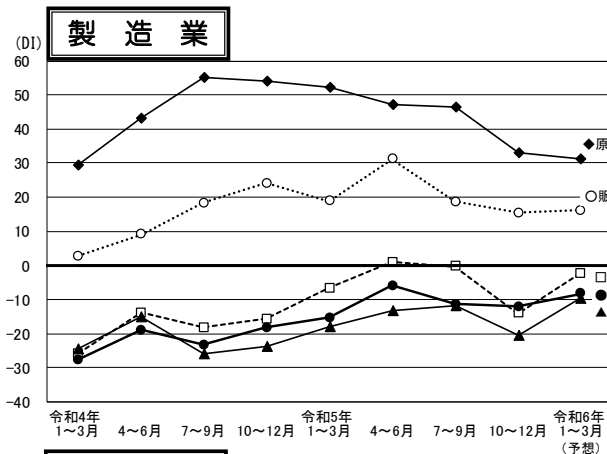
DI (ディーアイ) は、増加(又は「上昇」「楽」など)したと答えた企業割合から、減少(又は「下降」「苦しい」など)したと答えた企業割合を差引いた数値のことで、不変部分を除いて増加したとする企業と減少したとする企業のどちらの力が強いかを比べて時系列的に傾向をみようとするものです。

例: 「良い」 28.7%、「どちらでもない」 49.4%、「悪い」 21.9%の場合 → 28.7 - 21.9 = 6.8 (=DI)

北区と全都の業況の動き（実績）と来期の予測



業況と売上額、収益等の動き（実績）と来期の予測



北区 業種別 経営上の問題点

	製造業		小売業		サービス業		建設業	
上位項目	原材料高	45.1%	同業者間の競争の激化	35.1%	同業者間の競争の激化	32.0%	材料価格の上昇	55.9%
	売上の停滞・減少	44.0%	売上の停滞・減少		材料価格の上昇	24.0%	人手不足	29.4%
	利幅の縮小	24.2%	仕入先からの値上げ要請	26.3%	売上の停滞・減少		利幅の縮小	26.5%
	同業者間の競争の激化	22.0%	利幅の縮小	22.8%	大企業との競争の激化	20.0%	同業者間の競争の激化	
	仕入先からの値上げ要請 人手不足	12.1%	大型店との競争の激化	12.3%	利幅の縮小	12.0%	売上の停滞・減少	20.6%

北区 業種別 重点経営施策

	製造業		小売業		サービス業		建設業	
上位項目	販路を広げる	63.7%	経費を節減する	45.6%	経費を節減する	44.0%	経費を節減する	47.1%
	経費を節減する	58.2%	品揃えを改善する	33.3%	販路を広げる	40.0%	人材を確保する	44.1%
	提携先を見つける	13.2%	宣伝・広告を強化する	26.3%	宣伝・広告を強化する	36.0%	販路を広げる	35.3%
	人材を確保する 情報力を強化する	11.0%	売れ筋商品を取り扱う	15.8%	技術力を強化する	20.0%	情報力を強化する	26.5%
			商店街事業を活性化させる	14.0%	店舗・設備を改装する	8.0%	技術力を高める	20.6%

東京都の景況

<製造業>

業況は前期並の悪化幅で推移した。売上額・受注残は増加からわずかに減少に転じた。収益は前期並の減少が続いた。業種別では、食料品・輸送用機械が大きく悪化に転じた。価格面では原材料価格はやや落ち着きを見せたものの、販売価格は前期並の上昇が続いた。

<小売業>

業況は前期並の悪化幅で推移した。売上額はわずかに減少を強め、収益はやや減少幅を拡大させた。業種別で見ると、前期悪化に転じたガソリンスタンド・燃料が大きく好転した。価格面では仕入価格はやや落ち着きを見せたものの、販売価格は前期並の上昇が続いている。資金繰りは前期並の苦しさで、在庫は前期同様の過剰感となった。

<サービス業>

業況は前期同様の厳しさが続き、売上額はわずかに増加傾向が後退し、収益は大幅に減少を強めた。業種別では自動車整備・駐車場がやや持ち直した。価格面では材料価格・料金価格ともに前期並の上昇が続き、資金繰りは前期並の苦しさで推移した。

<建設業>

業況は前期並の良好感が続いた。売上額・受注残・施工高は大きく増加傾向が後退し、前期増加に転じた収益は再び水面下に落ち込んだ。業種別では職別工事においてやや好調感が後退している。価格面では材料価格は上昇幅がやや縮小し、請負価格は前期並の上昇が続いている。資金繰りは前期同様変わらず、在庫はわずかながら過剰に転じた。

特別調査「2024年（令和6年）の経営見通しについて」

問1 2024年の日本の景気見通しについて

(%)

	『良い』			普通	『悪い』		
	非常に良い	良い	やや良い		やや悪い	悪い	非常に悪い
全業種	-	-	6.0	43.3	38.2	9.9	2.6
製造業	-	-	7.7	47.3	33.0	11.0	1.1
小売業	-	-	1.8	42.1	45.6	7.0	3.5
サービス業	-	-	8.0	32.0	56.0	4.0	-
建設業	-	-	8.8	47.1	26.5	14.7	2.9

問2 2024年の自社の業況（景気）見通しについて

(%)

	『良い』			普通	『悪い』		
	非常に良い	良い	やや良い		やや悪い	悪い	非常に悪い
全業種	-	0.4	9.4	62.8	21.8	4.3	1.3
製造業	-	-	7.7	67.0	22.0	2.2	1.1
小売業	-	-	5.3	61.4	28.1	5.3	-
サービス業	-	-	12.0	48.0	32.0	8.0	-
建設業	-	2.9	11.8	76.5	5.9	-	2.9

問3 2024年の自社売上額伸び率見通しについて

(%)

	『増加』				変わらない	『減少』			
	30%以上の増加	20~29%の増加	10~19%の増加	10%未満の増加		10%未満の減少	10~19%の減少	20~29%の減少	30%以上の減少
全業種	-	0.4	4.7	17.9	64.1	9.8	3.0	-	-
製造業	-	1.1	4.4	18.7	60.4	13.2	2.2	-	-
小売業	-	-	1.8	12.3	78.9	1.8	5.3	-	-
サービス業	-	-	4.0	8.0	64.0	24.0	-	-	-
建設業	-	-	11.8	23.5	58.8	5.9	-	-	-

問4 自社の業況が上向く転換点の見通しについて

(%)

	『短期』			『中期』		『長期』	
	すでに上向いている	6か月以内	1年後	2年後	3年後	3年超	業況改善の見通しは立たない
全業種	8.6	8.6	16.3	12.4	13.7	12.9	27.5
製造業	5.6	11.1	20.0	7.8	18.9	14.4	22.2
小売業	8.8	8.8	10.5	17.5	8.8	10.5	35.1
サービス業	4.0	-	20.0	16.0	16.0	8.0	36.0
建設業	20.6	5.9	14.7	17.6	2.9	11.8	26.5

問5 2024年の価格動向（販売価格・仕入価格）について

(%)

	販売価格					仕入価格				
	大幅な上昇 (10%以上)	緩やかな上昇 (10%未満)	変わらない (一進一退など)	下落	わからない (自社には関係ないなど)	大幅な上昇 (10%以上)	緩やかな上昇 (10%未満)	変わらない (一進一退など)	下落	わからない (自社には関係ないなど)
全業種	4.3	40.6	41.9	1.3	12.0	6.4	48.3	32.5	0.4	12.0
製造業	2.2	37.4	46.2	-	14.3	3.3	45.1	34.1	-	16.5
小売業	7.0	43.9	40.4	1.8	7.0	10.5	50.9	33.3	-	5.3
サービス業	-	32.0	44.0	-	24.0	-	56.0	28.0	-	16.0
建設業	8.8	35.3	44.1	-	11.8	5.9	47.1	35.3	-	11.8

本調査についてのお問い合わせは、下記までご連絡ください。

東京都北区地域振興部産業振興課

TEL:03(5390)1234 FAX:03(5390)1141

刊行物登録番号

5-2-009